



学校だより

# やまゆり

2017年6月号  
平成29年5月31日  
横浜市立大口台小学校

すてきな学校～たくさんの力に支えられて～

校長 田川 斉史

雨に濡れる紫陽花が美しい6月です。

先月、家庭訪問を行いました。ご多用の中、ご理解ご協力を賜り、ありがとうございました。

4月に着任してから、多くの地域の方から本校と地域のことをお聞きする機会があり、大口台小学校とこの地域にさらに愛着を感じました。

先日、学校の周囲の植え込みの草取りをしてくださっている地域の方がいらっしゃいました。技術員や副校長が急いでご挨拶に行ったのですが、きれいに斜面の雑草の刈り取り、刈り取った草の運び出しまでしていただきました。ありがとうございました。

私が通った小学校は入学当時、木造校舎。三方を山に囲まれた自然豊かな立地でした。休み時間には山の中まで使った「缶けり」、「どろじゅん」で遊び、チャイムを聞いてあわてて教室に戻る毎日。授業に間に合わず、何度担任の先生に叱られたことか…。アケビの実を頬ばった思い出も…。

中休み、昼休みに運動場で元気に遊んでいる子どもたちの姿にその頃の景色が重なりました。

子どもたちが「遊び」の中で学ぶことは無限です。言い争って仲直り、集団ができ、そしてばらけ、転んで泣いて、そして立ち直り、励まし励まされ、などなど。子どもなりのさまざまなドラマが学校でも繰り広げられています。そんな舞台を支えていただいているみなさんに心から感謝いたします。これからもよろしく願いいたします。

母校の周囲の景色はこの数年で大きく変わってしまいました。三方を雑木林に囲まれていたのですがその山は崩され、大規模なマンションが建ち、校舎も立派に改築されました。もうアケビは採れません。山道を駆け回ることもできません。増築された校舎のおかげで運動場もずいぶん狭くなっていました。

改めて、大口台小学校の環境に、支えていただいているみなさまに感謝するとともに、子どもたちが心も体も元気いっぱい大きく育ってくれることを強く願います。

新学期が始まって2か月、新しい環境にも慣れ、子どもたちに疲れや自分の思う通りにならないという苛立ちも見られる頃かと思えます。学校では子どもたちの様子を観察しながら、子どもたちに寄り添い、話をよく聞き、指導していきますので、ご家庭でもご理解とご協力をお願いいたします。場に応じた態度の指導、一人ひとりの子どもたちの心を、家庭や地域のみなさまのお力をお借りしながら育てていかなければならないと思えます。

今後ともみなさまの力添えをお願いいたします。

今月は、6日(火)、7日(水)に5年生が千葉県「大房岬宿泊体験学習」。13日(火)、14日(水)に4年生が「愛川宿泊体験学習」に出かけます。活動を通して、自分をいかに表現し、コミュニケーションできるか、集団の中でたくさんのお話を体験することでしょう。これからも、子どもたちのためになることは、積極的に取り入れていきたいと思っています。



【1】 今月のソウさん…運営委員会が作成したポスター (校長室)